

島根原子力発電所2号機安全対策に係るヒアリング

1 日 時 平成26年9月9日（火） 13：30～15：20

2 場 所 鳥取県庁第29会議室（県庁第二庁舎4階）

3 対応者 原子力防災専門家会議：西田委員

中国電力：川本専任部長、阿比留マネージャー、小川専任部長、外園専任副長

鳥取県：渡辺原子力安全対策監、浜田課長補佐

4 概 要

- 島根原発2号機の新規制基準適合性審査会合（地震・津波関係）で扱われた事項について、中国電力から関係資料を配布した（下記5参照）。
- 震源を特定せず策定する地震動に関して対象地震の考え方や地震動算定の考え方等について、地下構造評価に関して地下構造モデルにおける速度層の設定方法等について、質疑応答が行われた。
- 西田委員から次のようなコメントがなされた。
 - ・ 「震源を特定せず策定する地震動」は、専門的で一般には非常にわかりにくいので、活断層を特定して策定する地震動との違いを示すなど、わかりやすい説明を行うこと。
 - ・ 8/26に国土交通省から公表された「日本海における大規模地震に関する調査検討会」の報告書に関し、断層モデル（例えばすべり角など）について、整合性を確認することが必要である。
- 西田委員のコメントについて、中国電力は検討する旨回答した。

5 配布資料

<審査会合資料><http://www.nsr.go.jp/activity/regulation/tekigousei/shinsa/shimane2.html>

震源を特定せず策定する地震動について（平成26年6月27日）

地下構造評価について（コメント回答）（平成26年9月5日）

地下構造評価について（コメント回答）参考資料（平成26年9月5日）